

環境報告書

2022



九州大学病院別府病院

1. 目 次

1.	目次	2
2.	トップメッセージ	3
3.	九州大学病院別府病院概要	4～5
4.	環境安全教育	6
5.	エネルギー、廃棄物処理	7～10



(新棟建設予定地)

2. トップメッセージ

九州大学病院別府病院では、内科、外科、整形外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科の6診療科を擁し、地域の皆様に最高水準の医療を提供できるよう、日々診療と研究に勤しんでいるところでございます。昨今は、様々な地域社会において、環境問題が取り沙汰されており、各診療科の医療現場におきましても、環境問題への認識が重要化してきております。世界的に見ましても、人類社会における様々な産業活動による持続的な炭酸ガス排出に伴い地球温暖化が進行していると言われていたり、化学物質による環境汚染など、環境問題は、国際的社会問題であり、医療産業においても広い視野を持って取り組むべき課題であります。医療の分野では、医療機器の運用は生命維持の観点から安易に節約することが困難でありますし、感染拡大防止のために再生利用されない消耗品も多く存在します。また、厳重管理を要する放射性物質や麻薬性医薬品を扱うといった医療産業ならではの特殊な状況も存在します。一方では、医学の急進的進歩により、先進医療の現場への導入は加速しております。このようななか、未曾有の加速度を持って超高齢社会に突入した我が国において、より多くの高齢者の方々に適切な医療を提供することは大学病院において、今後ますます重要性を増すことは疑いない所です。このような患者数増大、患者高齢化、先進医療の導入拡大においては、医療の量的拡大かつ質的上昇の両方を同時進行せねばならず、医療機器の適正な運用と医療廃棄物の適正な管理が、大学病院において、ますます重要課題となっております。私どもは、「これまでと同様に」ではなく、こういった急進的に変容して行く医療環境、すなわち高度化する医療機器運用システム、膨大化する医療廃棄物管理、先進医療導入に遅滞なく対応するべく、いわば医療環境保全新時代に突入したという認識をもって未来志向の医療環境保全に努めてまいりたいと考えております。



九州大学病院別府病院長
堀内 孝彦（ほりうち たかひこ）

3. 九州大学病院別府病院概要

名 称 九州大学病院別府病院

理 念 患者さんに満足され、医療人も満足し、医療の発展に貢献する
病院を目指します。

基本方針 ◇高度医療の提供と研究開発の推進
◇より高い医療安全の追求
◇地域医療への貢献
◇情報技術を基盤にした国際化の推進
◇全人的医療を実践する医療人の養成

所在地 〒874-0838 大分県別府市大字鶴見字鶴見原4546
TEL 0977-27-1600 (代表)
FAX 0977-27-1605
URL <https://beppu.kyushu-u.ac.jp/>

病床数 一般 140床

沿 革

設 立	1931年(昭和6年)	10月	温泉治療学研究所附属病院
改組・統合	1982年(昭和57年)	4月	生体防御医学研究所附属病院
統 合	2003年(平成15年)	10月	九州大学病院別府先進医療センター
統 合	2011年(平成23年)	4月	九州大学病院別府病院

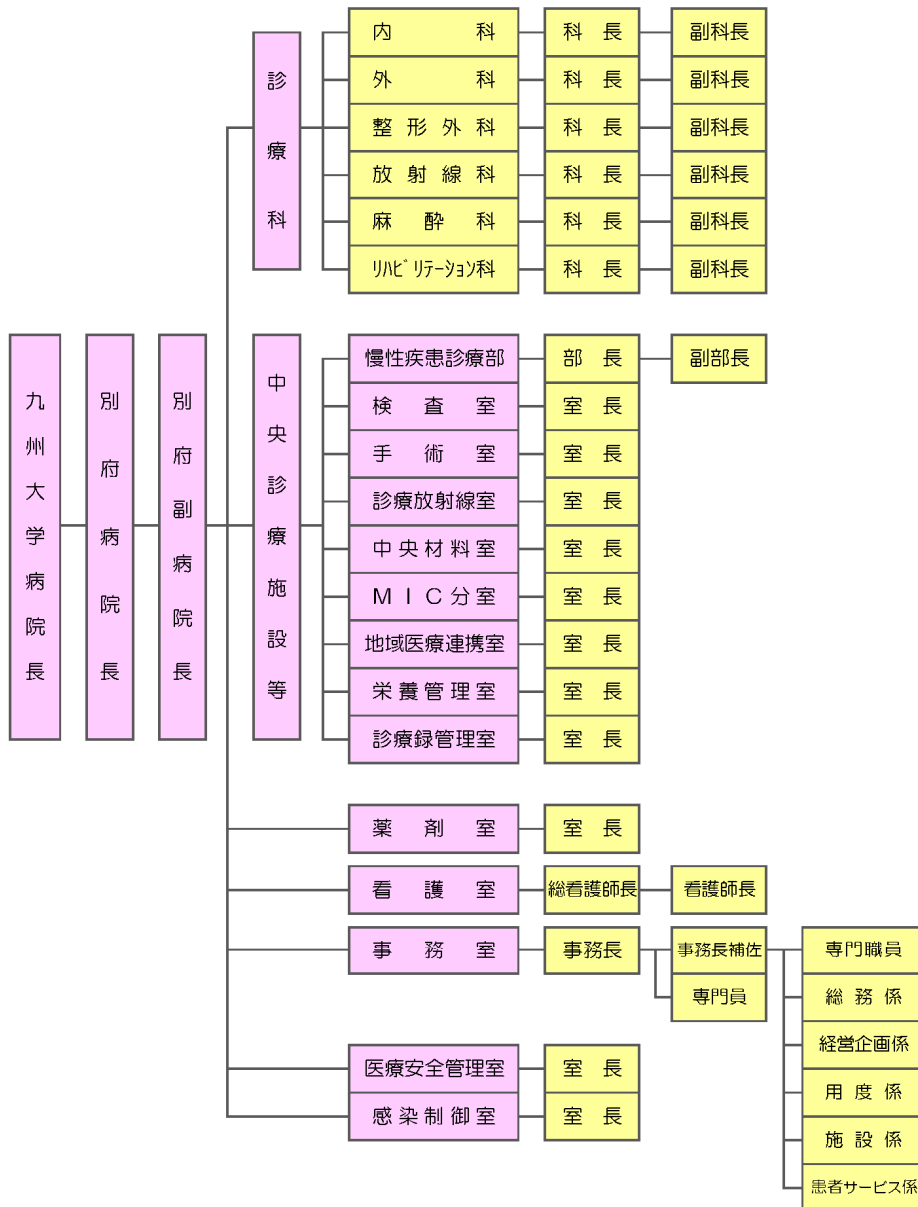
構成員 (令和4年4月現在)

教 員	19人
医員・研修医	10人
医療技術関係職員	20人
薬剤関係職員	6人
看護関係職員	88人
事務関係職員	34人
その他職員	11人
合 計	188人

別府病院の組織図

令和4年4月現在

組織



4. 環境安全教育

令和4年4月1日（金）に、「新採用者合同オリエンテーション」及び「新採用者合同研修」を配布し、転任者及び新規採用者に周知を行いました。

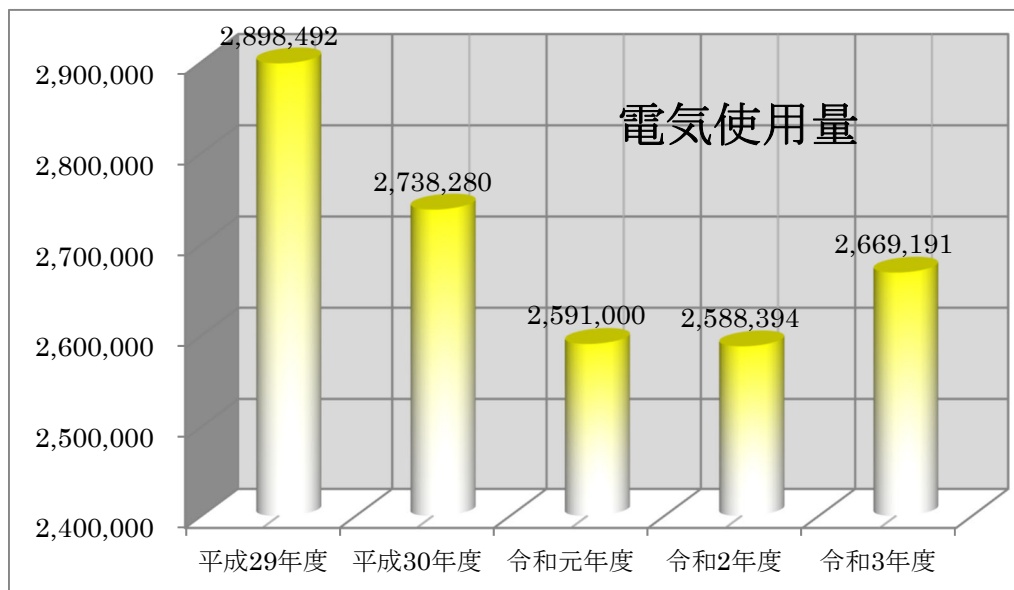
新採用者合同オリエンテーション	新採用者合同研修
<ol style="list-style-type: none">1. 病院の概要2. 薬剤のオーダーと運用について3. 九大別府病院の栄養管理について4. 診療放射線室について5. 防災について6. 診療録記載・診療記録等取扱ガイドライン7. 就業規則等について	<ol style="list-style-type: none">1. 病院概要2. 病院組織図3. 医療安全管理について4. 個人情報保護について5. 医薬品の安全使用について6. 医療機器の安全について7. 感染防止について8. 医療コミュニケーションについて9. 「患者の権利」「インフォームドコンセント」、 そして「医療記録」について10. 情報セキュリティポリシーについて11. 産業保健について～メンタルヘルスを中心に～12. 心肺蘇生法について13. 臨床倫理について14. 医療材料 SPD について15. 防災について16. 廃棄物処理フローチャート17. 九州大学安否確認システム（ANPIC）について18. 院内のマニュアルについて19. 診療録記載・診療記録等取扱いガイドライン (第6版)20. 病院配置図

5. エネルギー、廃棄物処理

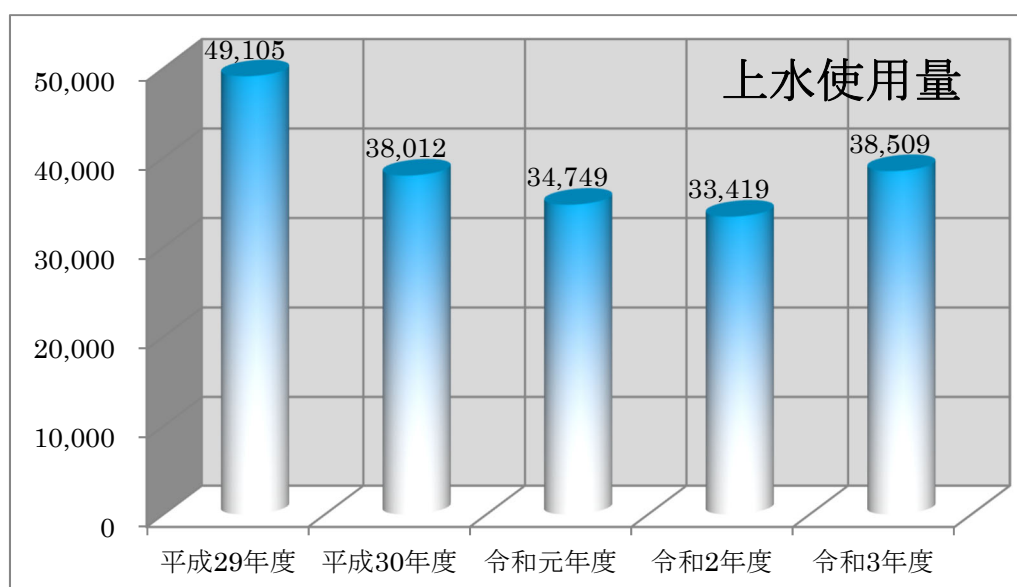
(1) エネルギー

別府病院では、エネルギー管理を行うために使用量の表・グラフを作成してエネルギーの管理資料としています。

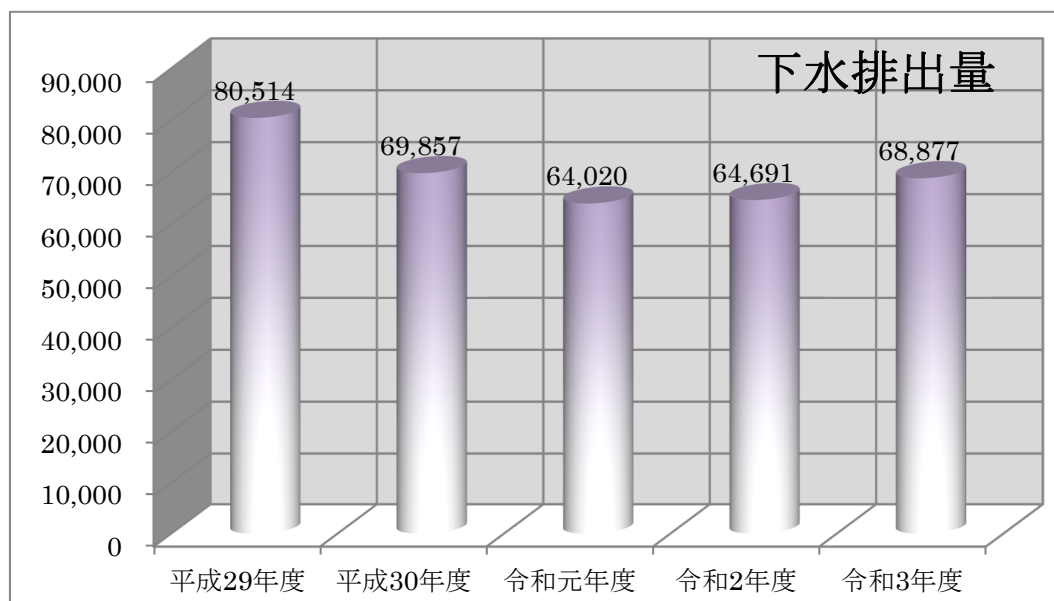
電気使用量 (Kwh)



上水使用量 (m)

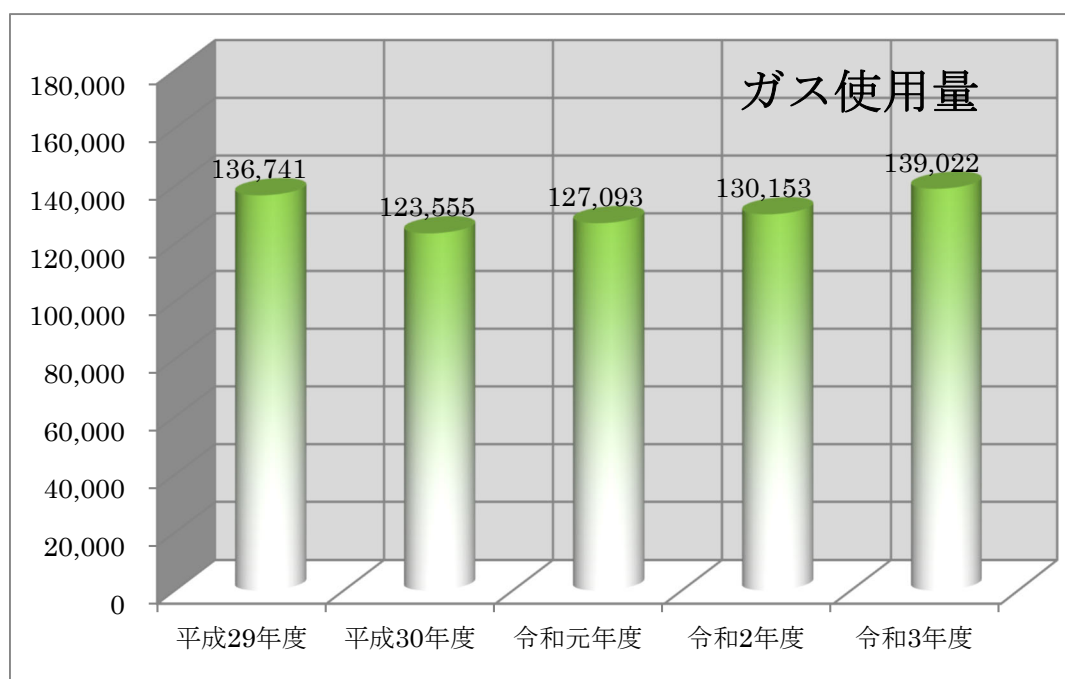


下水排出量 (m)

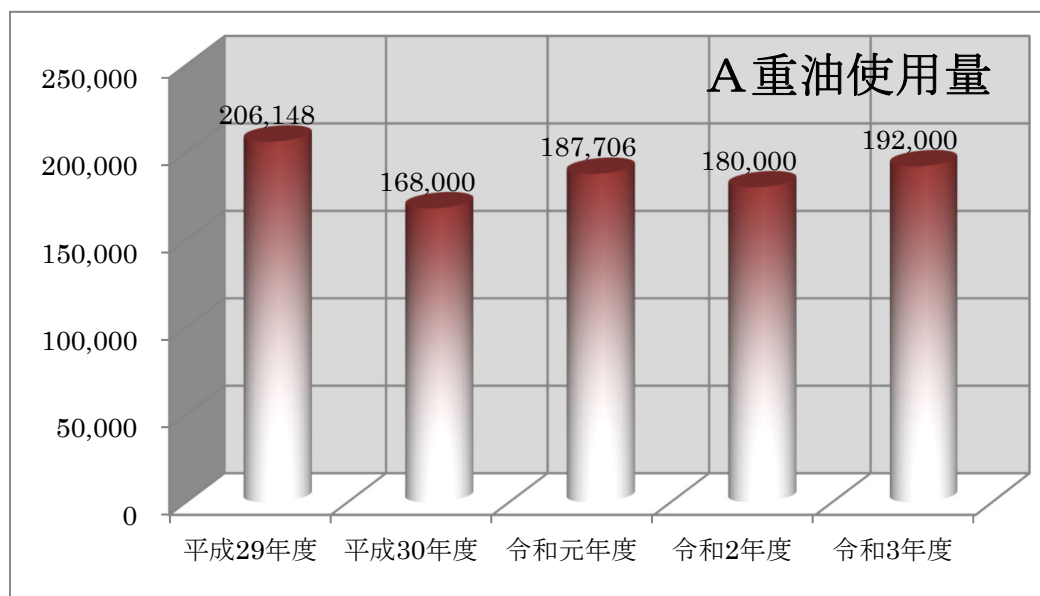


※下水排出量には温泉排出量を含みます。

ガス使用量 (m)



A 重油使用量 (L)



(2) 廃棄物処理

別府病院では、医療廃棄物（感染性・非感染性）及び一般廃棄物（可燃・不燃）を分別して集荷しています。医療廃棄物については取り扱いについて注意する必要があります。医療で使用した針はさらに個別の専用容器に入れて廃棄しています。



専用の分別容器に入れて廃棄を行っている。
左から可燃、非感染性
廃棄物、感染性廃棄物
×2



医療用で使用した廃棄
する針を入れる専用容
器



廃棄物置場においても
分別して集荷している
左から段ボール、感染性
医療廃棄物、非感染性医
療廃棄物、不燃物、可燃
物（医療廃棄物置場は常
時施錠しています）